

平成 28 年 12 月 1 日

中央労働災害防止協会
総務部長 三 富 則 江
【照会先】
総務部広報課長 高橋 まゆみ
(電話)03-3452-6542 (FAX)03-3453-8034
E-mail koho@jisha.or.jp

年末年始無災害運動 始まる

一年年末始こそ 安全衛生活動を総点検一

(平成 28 年 12 月 15 日～平成 29 年 1 月 15 日)

中央労働災害防止協会（中災防）は、働く人が年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう事業場等の取り組みを促進するという趣旨で、厚生労働省の後援のもと、「平成 28 年度 年末年始無災害運動」を実施します。

この運動は昭和 46 年から中災防が主唱するもので、今回で 46 回目。本年度は平成 28 年 12 月 15 日から平成 29 年 1 月 15 日までを実施期間とし、下記の運動標語の下、「平成 28 年度年末年始無災害運動実施要領」（別添）に基づいて展開します。

運動標語：**無事故で締めよう 行く年を 無事故を誓おう 来る年に**

○ 年末年始の労働災害の特徴

・年末年始は慌ただしい中での職場の大掃除や機械設備の保守点検・始動作業など、普段行わない作業が多くなる。各事業場・職場では、とりわけ機械・部品の清掃時における「はさまれ・巻き込まれ」、脚立や踏み台からの「墜落・転落」、つまずきなどによる「転倒」といった災害に特に注意が必要となる。

・大掃除などで荷物を運ぶ作業等が増えることによる「腰痛」も多い。作業前の体操で筋肉をほぐすなどの予防対策を心がけることが重要である。

・「交通事故」の死者・負傷者数、発生件数のピークは 12 月。冬季特有の悪天候や路面の凍結などによるスリップを避けるため、急ハンドル、急ブレーキ等に対する格段の配慮が求められる。

・年末年始は体調管理も難しい時期。睡眠不足や過度の飲酒などによる体調不良がないよう、本人だけでなく上司ら周囲も注意したい。

○ 経営トップによるパトロールなど「安全第一」を基本に

職場の安全や労働者の健康を確保していくためには、経営トップ自らが先頭に立ち、現場のパトロールを実施するなど安全衛生活動を総点検し、作業者との対話の中から安全衛生に関する情報を把握して、課題の解決につなげることが大切である。

各職場において「安全第一」の基本に立ち返り、リスクアセスメントやKYT（危険予知訓練）、指差し呼称などの危険予知活動を確実に実施して日常的な安全衛生活動の強化に結びつけ、「現場力の一層の向上」を図ることが重要である。

○ 「平成 28 年度 年末年始無災害運動 特設ページ」を開設

中災防ではホームページに特設ページを設け、年末年始の安全衛生活動の強化を呼びかけています。

中災防 年末年始無災害運動 で **検索** 

中災防ホームページ <http://www.jisha.or.jp/>

平成 28 年度 年末年始無災害運動 特設ページ

【主なコンテンツ】

- 1 年末年始無災害運動実施要領、同運動周知リーフレット
- 2 年末年始こそ安全衛生活動を強化しよう
 - チェックリストで安全衛生活動を強化！
 - 現場力の強化
 - 中小企業の労働安全衛生水準向上を支援
 - 行政情報・統計情報
- 3 改正労働安全衛生法への対応
 - ストレスチェック（メンタルヘルス情報）
 - 化学物質のリスクアセスメント
- 4 関連図書・用品・記念品情報

※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブに配布しています。

JISHA 中災防

中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体にに基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新の安全衛生情報の提供など、安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：榊 原定 征（さかきばら・さだゆき：日本経済団体連合会 会長）

理事長：八 牧 暢 行（やまき・のぶゆき）